

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
疫学基礎	2単位30時間(16コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	☑・不可
科目責任者	神田 晃		
担当者	神田 晃、吉池 信男		
1. 科目のねらい・目標 【ねらい】 疫学の基礎、すなわち、集団の健康状態や疾病の背景となる因子を探索・把握し、次に、予防・悪化防止のための対策（介入）を行い、さらに、その結果を評価する手法と考え方を習得します。栄養疫学に関わるデータを多く扱います。 【目標】 受講者が自分の研究を実施し論文にまとめる際、疫学研究方法を適切に利用できることとします。			
2. 授業計画・内容 【神田 晃】 1) 疫学とは、2) 疾病頻度の測定（曝露と疾病、疫学指標、相対危険と寄与危険）、3) 既存のデータ、4) 疫学研究方法（記述疫学、生態学的研究、横断研究、コホート研究、介入研究、システムティックレビュー/メタアナリシス）、5) 偏りと交絡（誤差、バイアス）、6) 因果関係（関連と因果、因果関係の要件）、7) スクリーニング、8) 臨床疫学、現代の話題 【吉池信男】 1～8）を通じて、 具体的な研究（横断研究、生態学的研究、コホート研究、RCT等）の論文を例に、各研究デザインや交絡因子の調整などについて基礎部分を学ぶ。 論文において、標本抽出、指標、統計解析方法、調整変数の意味、研究の限界を列挙できるようにする。 また、疫学に係わる英語表現に慣れるように、英文テキストなどを講読する。			
3. 教科書、参考書			
教科書（神田）中村好一. 基礎から学ぶ楽しい疫学 第4版. 医学書院, 2020 (ISBN 978-4-260-04227-7) 教科書（吉池）同上、また適宜参考資料を配付します。			
4. 成績評価方法 授業後課題提出（80%）、授業の参加度（10%）、授業の参加態度（10%）			
5. 受講要件 特になし			
6. 社会人学生に対する配慮 双方向型の完全オンライン授業、あるいは対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型での授業を行います。また、時間の有効活用を図るために、一部オンデマンドの受講やWebexのスペースを活用した授業を予定しています。			
7. その他			